

## カノコバト生態の基礎的観察

晏安厚<sup>1</sup>・馬金生<sup>2</sup>

1 江蘇省江都県丁沟中学

2 山東省教育学院生物系

訳 福井和二

カノコバト (珠頸斑鳩 *Streptopelia chinensis*) は江蘇省北部では優勢な留鳥である。筆者は1974~1987年の間、江蘇省北部におけるカノコバトの生態観察を行なったので、以下に報告する。

(1) 野外識別 カノコバトは雌雄の形態、羽色が似ており、成鳥の頸の部分に黒い羽毛の先端が白色で真珠のような斑紋があり、他のキジバト (山斑鳩 *Streptopelia orientalis*)、ベニバト (火斑鳩 *Oenopopelia tranquebarica*)<sup>1</sup> の頸部には白色の真珠様斑紋はない。

(2) 行動 カノコバトは常につがいで田畑、村落、湖畔、湿地、河畔の森林中、あるいは曠野の地上で行動し、春から夏にかけて毎日5時前後ねぐらを離れ、一直線に高度3~25mほどを飛行し、田畑、村落などへ向い、田畑で採食や砂浴をしている。カノコバトは人をあまり恐れず、1mほどの間隔になって驚いて飛び立ち、15~75mほどの先へ飛び去る。18時以後、樹林、竹林、竹、広葉混交林などでねぐらをとる、ときには4羽が1枝にかたまつてねぐらをとることもあり、希れには単独のこともある。ねぐらをとる場所は毎日一定である。カノコバトの鳴き声は、一度に二声、三声で、“bogu-bogu” “bogu,gu” と鳴き、四声の場合は“bogu, gu-gu” と繰り返す。それ故、江蘇省北部ではカノコバトのことを“鶉鳩鳩 bogugu” または“白果果 baiguoguo” などと言う。揚州、江都一带の人々は、雨天あるいは雨後に雄のカノコバトが雌を追いかけると誤って言われている。我が国の唐代の詩人李徳裕は《憶春雨》のなかで述べている。

“春鳩鳴野樹、細雨入池塘”(春鳩が木立で鳴き、五月雨が池へ降る)と、また北宋の詩人歐陽修は《田家》に記述している。“林外鳴鳩春雨歇、屋頭初日杏花繁”(春雨が止み、鳩が林で鳴き、軒端のアンズが繁んに咲きはじめ)とある。筆者の長期にわたる江蘇省北部の観察によると、カノコバトは4~7月の間頻繁に鳴くことがわかり、この時蘇北<sup>2</sup>は雨期にあり、雨天が多いが、カノコバトの鳴くことと、気象とは関係がなく、ただ、繁殖期によるものと、1980年庞秉璋がすでに報じている。

ベニバトは秋、冬、早春では、6時30分から17時40分の間に活動し、9時から15時30分までは特に多くは田畑や村落の屋根の上などで活発に行動し、冬季や早春は鳴くことが少ない。耕地、村落、広葉樹と竹の混交林などでキジバトとが100羽以上の混群を作ることがあり、また、湖沼の岸辺、河畔林、村落近くの広葉樹と竹の混交林などでねぐらをとる。日中は麦畑、野菜畑、湖沼の岸辺などで採食し、農地で追われたりしている。カノコバトは厳冬期の降雪時には樹林で過ごし、活動が少なくなる。

(3) 食性 カノコバトは植物性の物を主食とする鳥類で(表1)、イネ科、マメ科、アブラナ科植物等の種子を好んで食し、わずかではあるが動物性の食物を摂ることもある。筆者は1974~1987年のあいだ、蘇北地域のカノコバト37羽の剖検によって胃内容に穀類27回、約71.05%を認めた。1986年12月12日、江都県の丁溝鎮において2羽のカノコバトの剖検を行ない、その1羽の胃内容から粳245粒、小麦29粒、小豆47粒、野生マメ科植物の種子2粒、カタツムリ2匹、小タニシ1匹、大豆1粒、雑草種子若干、砂粒12粒、他の1羽から粳89粒、

カラスノエンドウ 1 粒, 野生マメ科植物種子 3 粒, 大麦 83 粒, 小麦 67 粒, 雑草種子若干, 砂粒 17 粒などが検出された。この時期はイネ, アズキ等は収穫期ではなく, 収穫後の田畑にある落ち穂, 脱粒した穀類や豆類を食しており, これによりカノコバトが有害であるとは言えない。しかし, 胃内容中の大麦, 小麦はカノコバトが麦畑で採食したもので, すでに発芽しているものがあり, この時期はカノコバトが農業生産にある程度の被害を与えていると見られる。毎年 3~4 月は, カノコバトが菜種畑で採食しており, 1979 年 3 月 23 日, 2 羽のカノコバトの剖検胃内容から 23.9g の内容物が得られ, その内菜種 19.4g, 81.7%, 芻 3.2g, 13.3%, 砂粒 0.6g, 2.50%, 野生のマメ科種子 0.1g, 0.42%であった。3 月下旬から 5 月上旬にかけて蘇北南部地域は菜種の結実, 収穫期で, 菜種は開花, 結実が不揃いで, 先に開花したものは先に結実して鞘が開裂し, 種子がこぼれやすくなる。このためカノコバトは菜種を多く摂ることになり, この他大豆, 落花生, イネの落ち穂などを食べている。また, 発芽した芻を食べていることから農業生産にある程度の被害があり, 当然適当な抑制を与えることは必要である。筆者は毎年 9 月下旬から翌年の 2 月中旬にかけ, 組織的にカノコバトの狩猟を認めるとよいと思う。ただし, 季節を問わず, 成鳥, 幼鳥を問わず, 巣を壊し, 卵を取ったり, 乱獲してはカノコバトを絶滅に追い込むこととなる。我々はアメリカにおけるリョコウバトの絶滅を教訓としなければならない。

## 訳注

\*1 ベニバト (火斑鳩 *Oenopopelia tranquebarica*) ; *Streptopelia tranquebarica* の誤りではないか。

\*2 蘇北 ; 江蘇省北部

表1 カノコバトの食性調査結果

時間 (年、月、旬)	場所		数量 (羽)	植物性食物																	動物性食物			砂砾					
	県	郷 (館)		イネ科					粟科	豆科						アブラナ科			ウリ科	雑草 種子	蠅 目 類 幼 虫	双 翅 目							
				稻	稗	小麦	大麦	玉米		大豆	豌豆	苕子	赤豆	花生	蚕豆	野豆	生科	萝卜				油菜	青菜 花		合子草	蠅 目 類 幼 虫	蠅 目 類 幼 虫	小 蠅	蝸 牛
1974、8 上	江都	真武	3	3	2			1		2															1	1		3	
1975、10 下	高邮	八桥	2	2	1			1	1														2					2	
1976、1 中	邳江	湾头	4	3		2	1							2	1									3			1	4	
1978、12 下	江都	真武	7	5	3	4	2							3														5	
1979、3 下	-	永安	2	1											1				1		2	1						2	
1980、1 上	高邮	湖滨	3	1		2																	3					2	
1981、7 下	江都	真武	3	1	2					3															1		1	3	
1984、4 上	-	杨庄	2	1		2	1			2											1	2	1					1	
1985、2 上	邳江	湾头	3	1		2	1			2					1									3				2	
1986、12 中	江都	丁沟	2	2		2	1			1					1	2								2	1		1	2	
1987、1 下	-	滨湖	7	-	2	1	2			3						2											1	4	
合计			38	24	10	15	8	1	1	14	4	3	10	1	1	8	1	4	2	8	10	1	2	3	3	3	3	30	
			%	71.05	26.32	39.47	21.05	2.63	2.63	36.84	10.53	7.89	26.32	2.63	2.63	21.05	2.63	10.53	5.26	21.05	26.32	2.63	5.26	7.89	7.89	7.89	7.89	78.95	

注 ●玉米；トウモロコシ ●荞麦；ソバ ●苕子；キビ ●赤豆；アズキ ●花生；落花生 ●蚕豆；ソラマメ ●萝卜；大根 ●青菜花；油菜  
●合子草；ゴキツル(ウリ科) ●蠅蛾蛹；メイガ蛹 ●蠅蛆；ウジ ●小蠅；タニシ ●蝸牛；カタツムリ